

2022年11月20日（日）

曇りのち雨

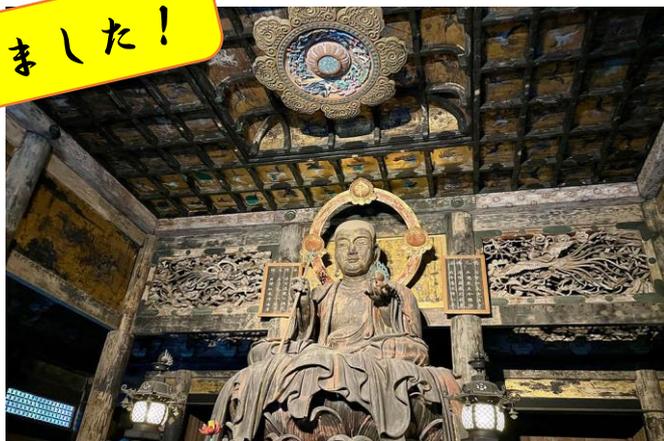


散策同好会「鎌倉五山巡り」を行いました！

五山制度は、インドの五精舎に倣って中国の南宋末期に禅宗の保護と統制のために格式の高い五つの寺を定めたことに由来しています。

鎌倉時代初めに南宋から帰国した栄西らによって伝えられた禅宗は、鎌倉幕府（北条氏）がこれに帰依したことからその後に隆盛を極めていきました。

鎌倉五山は、中国の五山制度に倣って定められたもので禅寺を保護すると同時に、これを格付け管理して幕府が禅寺のトップの任命権を持ち、順次格式の高い寺に昇任させました。



鎌倉五山第一位・建長寺のご本尊「地藏菩薩座像」

- ☆鎌倉五山：
- | | |
|-----|-----|
| 第一位 | 建長寺 |
| 第二位 | 円覚寺 |
| 第三位 | 寿福寺 |
| 第四位 | 浄智寺 |
| 第五位 | 浄妙寺 |



円覚寺での集合写真

当日、北鎌倉駅前に集合した参加者は21名。怪しい雲行きの天候でしたが、目の前の円覚寺から五山巡りをスタート。「円覚寺」からスタートして、「浄智寺」「建長寺」「寿福寺」を巡りました。それぞれのお寺では、山門をはじめ仏殿、法堂（建長寺しか残っていませんが）などを拝観。お寺の沿革や建物などの構造の特徴やご本尊についてお話ししました。

参加者の槇さんのご自宅で休憩、コーヒーをごちそうになりました。ありがとうございました。



浄智寺の采風山門

建長寺に着いた頃からポツポツと降り始めましたが、参加者の方々には傘をさし、足下を気にしながらも熱心に説明に耳を傾けていただき、深く感謝申し上げます。（今度は天気の良い暖かい日にご案内しますね）

最後の寿福寺を訪れる頃には雨に加えて夕闇が迫り、暗くなった参道を通して墓域の奥にある「北条政子の墓」と「源実朝の墓」（といわれる）をお詣りしました。

鎌倉駅での解散後、有志によりコロナ対策に気を付けながら反省会？（飲み会？）を行いました。

ご参加いただいた皆さん、大変にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

散策同好会リーダー 中田幹雄



雨の寿福寺参道

<お知らせ>

次回の散策同好会は、5月下旬を予定しています。次は鎌倉を離れて散策先を都内に移そうと思います。